

おまかせ運用インフレヘッジ・ファンド (世界の実物資産中心)

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第9期(決算日2026年2月2日)

作成対象期間(2025年2月1日～2026年2月2日)

第9期末(2026年2月2日)	
基準価額	23,329円
純資産総額	934百万円
第9期	
騰落率	21.8%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。
- 右記弊社ホームページの「ファンド情報」等から当ファンドのファンド名を選択することにより、当ファンドの「運用報告書(全体版)」を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「おまかせ運用インフレヘッジ・ファンド(世界の実物資産中心)」は、このたび第9期の決算を行いました。当ファンドは、「THEOリアルアセット・マザーファンド(世界の実物資産中心)」受益証券を通じ、世界の市場投資信託証券(ETF)に投資することで、実質的に世界の実物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

お金のデザイン

東京都中央区新川1丁目17番21号

<照会先>

電話番号：03-6629-7090

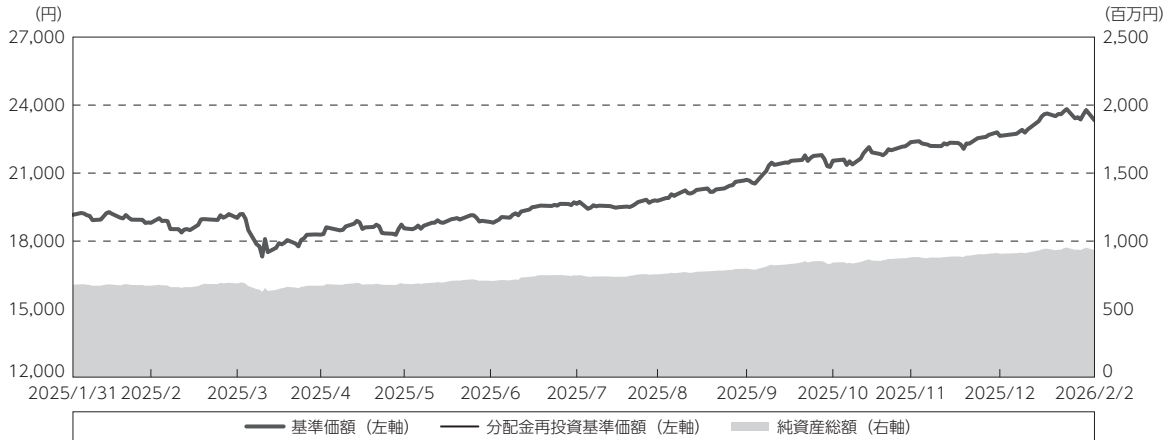
(受付時間：委託会社の営業日の9：30～17：00)

ホームページ：<https://www.money-design.com/>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年2月1日～2026年2月2日)



期首：19,160円

期末：23,329円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：21.8%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年1月31日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○基準価額の変動要因

当期、当ファンドの基準価額は、+21.8%となりました。

当ファンドは、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

当ファンドでは為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。前期末に1ドル154円台で取引を終えた為替市場は、4月に一時1ドル140円を割り込む水準まで円高が進行しました。その後は円安基調へ転じ、期末にかけては一時159円台までドル高円安が進みましたが、日米当局による協調介入への警戒感から155円台で期を終えました。このことが基準価額にプラス寄与しました。ファンドで組み入れているETFの米ドルベースのリターンは、すべてプラスとなりました。為替の効果を考慮した基準価額への寄与度という点でも、すべてプラス寄与となっており、中でも金・銀のETFの寄与度が比較的大きくなりました。

1万口当たりの費用明細

(2025年2月1日～2026年2月2日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	90	0.442	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(73)	(0.359)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(11)	(0.055)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	9	0.046	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（投資信託証券）	(9)	(0.046)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	38	0.185	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(15)	(0.075)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(6)	(0.028)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(17)	(0.083)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	137	0.674	
期中の平均基準価額は、20,241円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

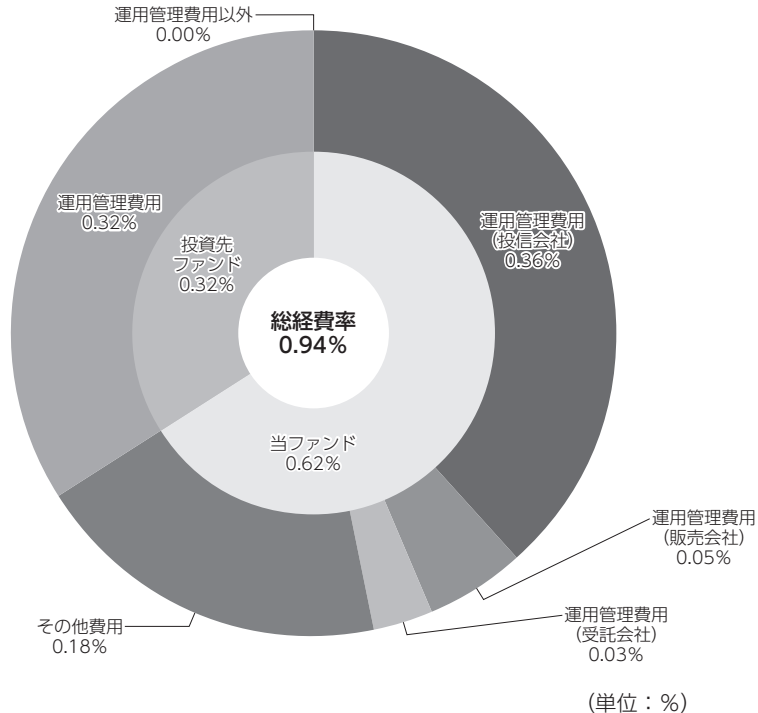
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.94%です。



総経費率(①+②+③)	0.94
①当ファンドの費用の比率	0.62
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.32
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

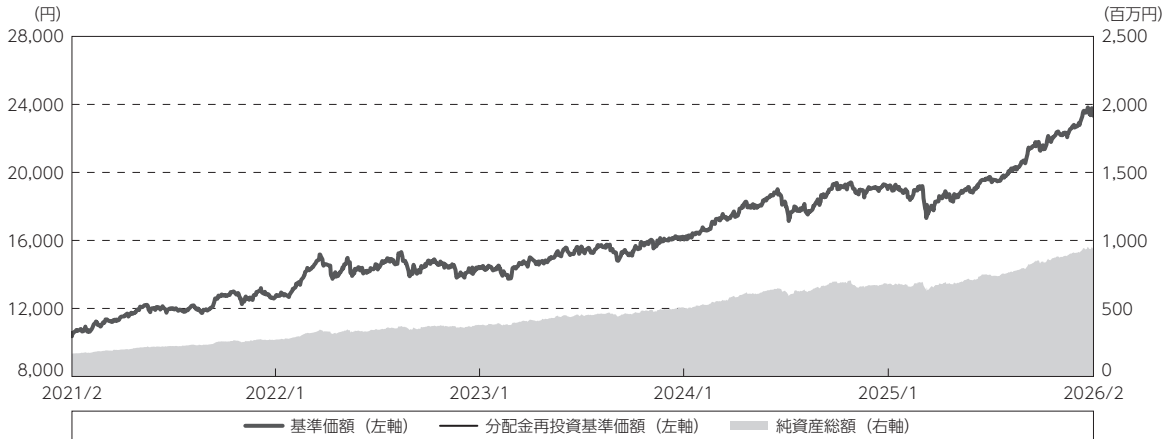
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2021年2月1日～2026年2月2日）



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2021年2月1日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年2月1日 決算日	2022年1月31日 決算日	2023年1月31日 決算日	2024年1月31日 決算日	2025年1月31日 決算日	2026年2月2日 決算日
基準価額 (円)	10,365	12,677	14,365	16,191	19,160	23,329
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	22.3	13.3	12.7	18.3	21.8
純資産総額 (百万円)	165	270	377	505	679	934

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

投資環境

（2025年2月1日～2026年2月2日）

当期の世界株式市場および現物資産市場は、主要国の景気動向や日米の金融政策の行方に強く反応する展開となりました。また、中東情勢をはじめとする地政学リスクが引き続き意識されたほか、トランプ米政権による関税政策・政治動向も、市場を大きく動かす要因となりました。

不動産、インフラ関連株式の米ドルベースのリターンは、期初、トランプ米大統領の関税政策への懸念や金利の不安定な動きから、軟調な推移となりました。しかし、期中盤からFRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ実施を受け、金利低下を好感する形で持ち直しました。期末には、米政権が打ち出した住宅購入規制への懸念などで上値が重くなる場面もありましたが、底堅い経済指標などが支えとなりました。

貴金属は、米国の利下げに伴う実質金利の低下により相対的な魅力が高まったほか、地政学リスクの高まりを背景に、金・銀ともに上昇基調を維持しました。特に銀やプラチナは、産業需要の高まりや代替資産として注目が集まりました。期末にかけては値動きの激しい展開が見られましたが、通期でプラスのリターンを確保しました。

エネルギー関連株式は、産油国の増産報道や供給過剰懸念から軟調な場面もありましたが、地政学リスクの高まりが価格を支えました。また、期終盤には米国の寒波による天然ガス価格の上昇もあり、期末にかけて株価は上昇しました。また、米国物価連動国債は通期でプラスのリターンとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2025年2月1日～2026年2月2日）

当ファンドは、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の实物資産等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界の实物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年2月1日～2026年2月2日）

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

（2025年2月1日～2026年2月2日）

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第9期
	2025年2月1日～ 2026年2月2日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	13,329

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続き、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の实物資産への投資と経済的に同様な効果を得ることを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

お知らせ

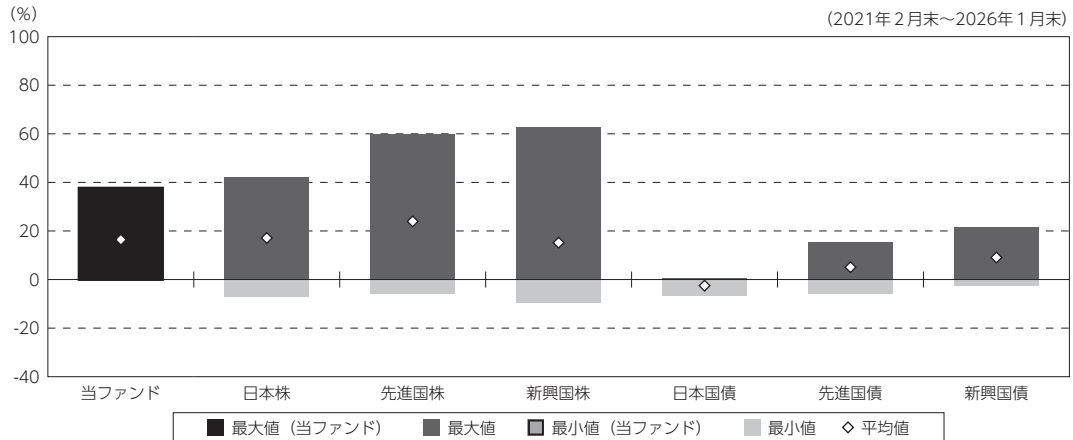
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日）	
運用方針	<p>「おまかせ運用インフレヘッジ・ファンド（世界の实物資産中心）」は、マザーファンド受益証券へ投資を行います。以下はマザーファンドである「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」の運用方針です。</p> <p>①主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界の实物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。</p> <p>②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p> <p>③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</p>	
主要運用対象	ベビーフンド	THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
運用方法	主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界の实物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。	
分配方針	毎年1月31日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	37.8	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	0.1	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	16.4	17.1	23.9	15.2	△ 2.5	5.1	9.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年2月から2026年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド（円ベース）

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2026年2月2日現在）

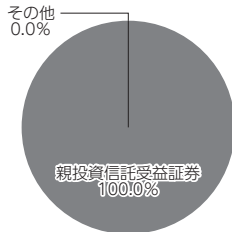
○組入上位ファンド

銘柄名	第9期末
THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

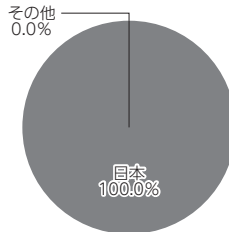
（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

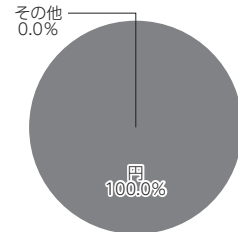
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

項目	第9期末	
	2026年2月2日	
純資産総額	934,197,848円	
受益権総口数	400,444,344口	
1万口当たり基準価額	23,329円	

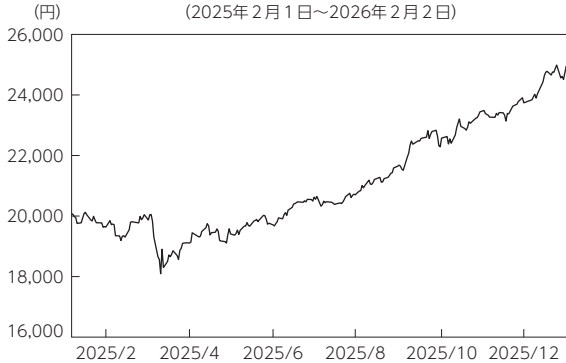
（注）期中における追加設定元本額は80,910,086円、同解約元本額は35,265,654円です。

組入上位ファンドの概要

THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）

【基準価額の推移】

(2025年2月1日～2026年2月2日)



【1万口当たりの費用明細】

(2025年2月1日～2026年2月2日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	10 (10)	0.046 (0.046)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)
(c) その他費用 (保管費用)	16 (16)	0.075 (0.075)
合計	26	0.122

期中の平均基準価額は、21,181円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

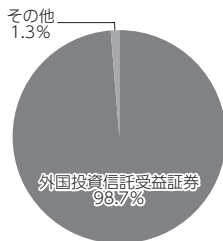
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
1	ISHARES US REAL ESTATE ETF	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	29.3
2	ISHARES TIPS BOND ETF	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	28.7
3	ISHARES GOLD TRUST	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	12.5
4	ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	11.3
5	ENERGY SELECT SECTOR SPDR	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	5.1
6	ISHARES 1-3 YEAR TREASURY BO	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	4.7
7	ISHARES SILVER TRUST	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	3.7
8	ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	2.0
9	SPDR DJ INTERNATIONAL REAL E	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	1.4
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数				9銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

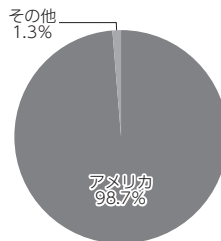
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

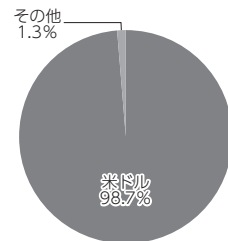
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2026年2月2日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。